

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：保健予防諸費

事業名 原爆被爆者健康管理生活指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部保健医療課精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内 2544)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200 千円 (前年度予算額：200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	200	35	0	0	0	0	0	0	165
要求額	200	35	0	0	0	0	0	0	165
決定額									

介護手当等国庫負担(補助)金交付要綱

原爆被爆者保健福祉施設運営費補助金 原爆被爆者相談事業

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内に在住する原子爆弾の被爆者に対し、健康管理や生活指導を行う

(2) 事業内容

県内在住の被爆者に対する相談会を開催し、医師、ケースワーカーのもとで健康管理や生活指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内在住の被爆者の円滑な健康管理、生活を確保する必要があり、一部国庫補助により実施する。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
委託料	200	相談員報償費、旅費等
合計	200	

決定額の考え方

事業評価調書

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
原子爆弾被爆者のうち、県内在住者の健康及び生活支援を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

事業内容から達成すべき目標値の設定にはそぐわない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - ・第1回相談会（令和2年11月上旬の2日間）
 - ・第2回相談会（令和3年2月中旬の1日）

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	被爆者が高齢化する中、その健康管理と生活指導は引き続き必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	被爆者が高齢化する中、健康及び生活支援などに寄与し、成果を出せている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	被爆者のニーズに合わせて、医師やケースワーカーなど支援者を変更しながら、的確に健康及び生活支援につながるよう、運用を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、健康管理及び生活指導の機会を確保していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	